

塗料を活用した製品戦略

塗装の基本的な目的であり機能は、デコレーションとプロテクション、すなわち美装と保護とされてきた。例えば自動車などの外装塗装はこの二つをバランスさせ、商品力を高めることにも貢献している。さらに、可飾と保護に特定機能の付与を加えた三つが塗料の役割とも言われる。これら塗料の性能を理解し、十分活用することは、最終製品の性能を高め、魅力あるモノづくりを可能にすることに直結するとともに、広い意味での社会貢献にもつながる。



人知れず社会基盤を守り続ける

高い強度を誇る鋼構造物の天敵はサビ。サビが発生すれば強度は低下し、最悪の場合崩落にもつながりかねない。逆に、サビを防ぐことができれば長期間の使用も可能だ。フランスのエッフェル塔には、パリの街並みに調和するよう選ばれた専用色が、7年に一度の割合で塗り替えられているという。そのおかげか、建造後120年が経過しても年600万人の観光客が訪れる世界有数の観光スポットとして今なお現役を続けている。

120年現役の支え 復興のスピードアップにも力

明治以来使われた鉛含有塗料に変わり、高度成長期以降はエポキシやポリウレタン樹脂塗料が発達。その技術は本州四国連絡橋に代表される長大橋にも貢献した。さらにフッ素樹脂塗料が登場した。それまでより格段に長期耐久性があり汚れも付きにくい。ところが成分のフッ素樹脂が高価で初期コストが高く、いいのはわかっていても、「との声もあつた。

長大橋にも

具体的用途としては鉄塔や橋梁から海洋構造物、道路橋などの土木構造物。もちろん発電所をはじめライフラインを構築する施設やタンク、鋼構造プラットフォームまで。昨今はトンネルも鋼殻構造を採用するケースが多く、湿度の高い掘削作業には欠かせないという。関西ペイントはこれらに向けた防食塗料を多数ラインアップし、充実した提案が、豊富なライオンアッパを塗り適所の提案、すなわち「必要な場所には十分なコストをかけ、必要ない場所には塗料をしない」提案すら可能にする。

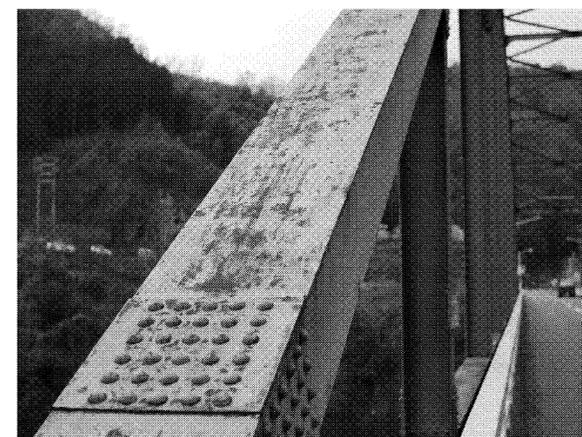
節電対策をアシスト JIS化で市場拡大に勢い

古くから塗料塗装の目的は美装と保護であるといわれてきたが、もう一つ重要な役割が機能である。塗料に機能性を付与することには、さまざまに行われてきた。電気絶縁や電磁波防止、耐熱、紫外線吸収、防汚や防かびなど、枚挙にいとまがない。また、塗料そのものの安全性を確保する事は、VOCの少ない事も重要な要素となっている。

神東塗料は環境に配慮した製品開発・提案に力を注ぎ、とりわけ水性塗料については業界に先駆けて溶剤系塗料からの転換を実施。「水の神東」は内外に知られた存在となっている。同社が低公害型で省エネルギーにも役立つ遮熱塗料を産業界に提案している。近年、ヒートアイランド対策の一つの解決策として、市町村レベルでの策定率はまだ低い。導入しやすい価格で塗り替え間隔をのばせる塗料は事態の改善に貢献する。

工期を短縮

同社ではHP上で震災復興に役立つ塗料の紹介をはじめ、漆喰塗料や遮熱塗料に加え防食塗料である「ユニテクト70SF」や「エスコLTC」「テクトパリアーSP」が掲載されている。



老朽化した道路橋の手入れが急がれる

社会を築く

現在、塗料全体の国内需要に占める構造物の割合は6割程度にすぎないと見られる。用途や必要な機能も細分化し、メーカーにとって利益面だけを見ればうまいの多いカテゴリーといえる。また塗料自体が性能・コスト・環境対応を満たさねば採用は難しい時代ともなってきた。しかし同社では、「今後も防食塗料の充実を図る」と力強く語る。目的に最適化した製品をベースにした提案は、建築物はじめモノづくりの需要を広くとも社会資本を支え震災復興の促進にもつながる公益性の高い仕事でもあるからだ。

オール水系の遮熱塗料も

太陽光のうち赤外線は、それ自体が熱を持つのではなく、屋根材や路面などに吸収された際にエネルギーが発生する。高反射型塗料は赤外線反射率の高い顔料などの働きによって太陽熱を効率よく跳ね返すことで発熱を防ぐ。また断熱塗料と呼ばれる装い外にも建物の外壁や路面など、他の用途への広がりも見られる。生コンクリートの無機系断熱材を利用して断熱層を設け、熱伝導を防ぐ。これらを組み合わせたシステムも登場している。建物の屋根部に対しては、一定期間のうちに防水補修を行われるため、このタイミングで塗装すれば無理なく施工が可能だ。さらに、屋根用の遮熱塗料は、内部の生コンの温度上昇を下げるとの使い方もされている。

UniTECT 70SF

— 防食塗料のシステム革命 —
ウレタンのコストで
ふっ素の品質!

ユニテクト70SFは、
経済性と環境性能に優れた
ふっ素樹脂塗料です。

総合的にコストダウンを実現

- 中塗上塗兼用の工程短縮でイニシャルコスト低減
- ふっ素樹脂の長期耐久性でランニングコスト低減

環境性能にも配慮

- 低VOC・低汚染性

塗装対象物 電力・ガス・石油等のプラント設備や橋梁

関西ペイント 関西ペイント販売株式会社 防食塗料販売本部 0120-646-201

Shint Energy Saving Painted Finishes

遮熱・断熱塗装システム

ESPI法

ESP(Energy Saving Painted Finishes)工法とは、塗料により省エネルギー効果が得られる工法で、金属屋根はもちろんのこと、窯業系、スレート屋根、建物の外壁などに施工でき、遮熱・断熱効果のあるシステム工法です。サンカットルーフ、サンカットウォールとサンカットタンネツなどとの組み合わせにより、用途に応じた仕様組みが選べます。

さわやかな環境の提案
神東塗料
ISO 9001 ISO 14001 全社登録
東京 TEL (03) 3522-1672
名古屋 TEL (052) 612-0293
大阪 TEL (06) 6426-3763
<http://www.shintopaint.co.jp/>